

## 第6回農業大学校跡地周辺地域整備有識者会議〈議事録（要旨）〉

日時：令和4年3月28日（月）15:00～16:30

会場：AP 東京丸の内・A ルーム

### ○出席者

#### 〈委員〉

- ・【会場】永谷委員長（東京大学）、神山委員（NEDO）、矢内委員（ロボット工業会）、【オンライン】大木委員（三菱総合研究所）

#### 〈事務局（埼玉県）〉

- ・【会場】小貝次世代産業幹、新井主査、松本主任、清水主事、【オンライン】福山技師

#### 〈支援業務受託者（日本総研）〉

- ・【会場】松岡、佐藤、杉本、今井、清水、桑山

### 【議事】

#### 1. 開会

（司会：新井主査）

〈開会〉

〈新井主査・自己紹介〉

〈資料確認〉

#### 2. 出席者紹介

（新井主査）

〈有識者委員の紹介〉

〈オブザーバー（欠席）の紹介〉

〈事務局（埼玉県職員）の紹介〉

〈支援業務受託者（日本総研）の紹介〉

#### 3. 基本計画（概要版・原案）について

##### ○基本計画（概要版・原案）説明

（日本総研 佐藤・杉本）

〈資料1・2基本計画（概要版・原案）について説明〉

#### 4. 原案の検討

（進行：永谷委員長）

事務局から提出された資料と説明を踏まえて、各委員の方にご質問やご意見、情報をいただければと思います。お手元の委員名簿の順にご発言いただき、最後に私（永谷）が発言させていただきます。本日の会議が今年度最後です。かなりしっかりとまとめられていますので、この先どのようにやっていけばよいかという観点から建設的な意見をいただければと思います。

まずは、神山委員からお願いします。

（神山委員）

私の方でいくつか考えていたことに関しても網羅していただき、充実した計画になっていると

率直に感じています。一点挙げると、ロボット開発者にとって使いやすいのはもちろんのこと、ロボットが社会に受け入れられていく土壌を作る役割も重要だと考えており、社会科見学等の取組や近隣住民も含めた活動を積極的に行ってほしいと思いますのでよろしくお願いします。

(永谷委員長)

今の神山委員の考えについて、私もそのとおりだと思いました。

(矢内委員)

非常にうまく取りまとめられており、議論してきた中での話も盛り込まれていると思います、特に違和感はありませんでした。基本計画（原案）の73頁の収支見込で6,000万円程度の赤字が出るとのことですが、地方創生拠点整備交付金や企業版ふるさと納税等の活用によって補填ができるのでしょうか。

(小貝次世代産業幹)

地域創生拠点整備交付金は施設費に充てるもので、運営費には充てません。収支見込6,000万円程度赤字は、例えば指定管理の手法をとった際の指定管理料として支払う（県の持ち出し）ことになるかと考えております。

(矢内委員)

ありがとうございます。

(大木委員)

基本計画のとりまとめありがとうございます。特段コメントはございません。これまで申し上げさせていただいた制度との連携や国際標準との連携等の部分についてしっかり反映していただいていると思います。特に、周辺の自治体との連携についても今回かなり明確に方針を書かれているのでいいと思いました。特段の質問、追加のコメント等はございません。

(永谷委員長)

皆様特に反対なしということですが、私の方から最後に1点発言させていただきたいと思います。以前話もあったと思いますが、これから作り始めて4年経つと、その間に技術革新が起こって変わってきてしまい、途中から時代に合わなくなってしまうこともあると思います。ソフトウェアの世界でいうアジャイル的に、できる限りその場その場でうまく時代の流れに合わせて、このセンターが変わってくという気持ちで進めていけるとよいと考えています。

また、すごく細かいことになりますが、屋外作業室についてはあるととても安心で、ないととても大変だと感じます。可能であれば、ぜひトイレも作ってほしいと思います。それ以外の部分については、大変よく原案を作りこまれていて非常に素晴らしいと思っておりますので、大筋のところについて私も反対意見はございません。以上で私の方からの感想とさせていただきますが、私からの発言に対して何かございますか。

(小貝次世代産業幹)

永谷委員長のお話にあった時代の流れに合わせるという点について、これまで委員の皆様から技術革新が進んでいるということをお聞きして、我々も企業のニーズを的確に捉えて制度に反映できる仕組みを考えていきたいと思っております。今後皆様にお話を聞くことがあるかと思いますが、その際はご協力のほどよろしくお願い致します。

(神山委員)

時代のニーズに合わせて柔軟に対応していただきたいという点に関しまして、基本計画(原案)の38ページに3Dプリンターの導入の希望があるとの記載がありますが、このようなロボット開発に必要な機器を導入するにあたっては、機器の寿命と価格のバランスを考えたいという点で用意いただくのがいいと感じました。高額にも関わらず寿命が短いものを用意してしまった場合、有効に活用できないと思います。そういったものは諦めて、20年使えるものを導入したり、切り替えのタイミングを想定してそれに合わせた機器を導入したりするということを考えていただくと、施設の使いやすさが保たれていいのではないかと思います。

(小貝次世代産業幹)

導入機器についても本当に使われるかどうかということ、また、技術革新が非常に早く陳腐化しやすいということがありますので、機器を導入する場合にはその点もよく検討しながら進めたいと思います。貴重なご意見をありがとうございます。

(永谷委員長)

それでは、概ね意見・感想も出揃いました。委員の皆様、どうもありがとうございました。この後の進行は、事務局にお返しします。

## 5. 閉会

(司会：新井主査)

### ○埼玉県産業労働部・次世代産業幹挨拶

(小貝次世代産業幹)

委員の皆様には農業大学校跡地周辺地域整備基本構想と基本計画の策定にあたり、多角的な視点からたくさんのご意見やご提言をいただき心から御礼申し上げます。今年の5月12日に第1回有識者会議を開催させていただき、現地視察の後に様々なアイデアをいただきました。その後、新型コロナウイルスの影響もあり、メール開催とした会議や臨時で意見照会をさせていただいたケースもありましたが、皆様のおかげで無事に基本計画の策定にこぎつけることができました。この基本計画について知事まで報告したうえで公表したいと考えております。4月以降はこの計画に基づき、フィールドおよびセンターの基本設計を実施していきます。さらに、事業用地の取得も急ピッチで進め、令和8年度のロボティクスセンターの開設に向けて準備を進めていく考えでございます。今後も業務を進めていく中で諸課題が出てくると考えております。その際には、改めてご助言やご意見等をいただきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

また、センター完成後は是非ご活用していただくとともに、関係各所にPRいただければ大変ありがたく思います。本日所用により欠席となりました副部長の目良も、「最後の会議に欠席となりまして大変申し訳ありません。皆様には基本構想・基本計画の策定に大変お世話になり感謝に堪えません。」と話をしておりました。改めて皆様にはサービスロボット分野に関して専門的見地からわかりやすくご意見・ご提言をいただいたことに心から感謝申し上げます。一年間どうもありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

〈閉会〉

以上